

栃木県重点戦略

とちぎ 未来 創造 プラン

～令和7(2025)年度の主要な取組～



<子ども総合科学館のロケット 愛称「とちぎ未来号」>



<日光杉並木植樹 400年記念ロゴマーク>

栃木県では、令和7(2025)年10月に、「未来に生きる自分を想像／創造する」を展示・活動のコンセプトとして改修工事を行ってきた栃木県子ども総合科学館のリニューアルオープンを予定しています。リニューアルに当たり、県民アンケートを実施し、同館のシンボルであるロケットの新デザイン及び愛称を決定しました。

また、日光杉並木街道が令和7(2025)年に植樹開始から400年を迎えることを受け、杉並木の魅力や歴史的・文化的な価値、保護の重要性を改めて広く発信していくため、記念ロゴマークを作成しました。

栃木県重点戦略 とちぎ未来創造プラン 2021-2025

栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」は、中長期的な展望のもと、とちぎのめざす将来像を描き、その実現に向け、県民の皆様と共有すべき基本的な考え方や目標を明らかにするとともに、令和3(2021)年度を初年度とする令和7(2025)年度までの5年間に、県が取り組む施策の進め方等をお示しする県政の基本指針です。

このプランでは、めざすとちぎの将来像を「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」と掲げました。

人が育ち、地域が活きる
未来に誇れる元気な“とちぎ”



重点戦略

重点戦略は、人口減少・少子高齢化の進行、頻発・激甚化する豪雨災害、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、栃木県が直面する諸課題を乗り越え、とちぎの強みを最大限生かしながら、今後5年間でめざすとちぎの将来像を実現するため、重点的に取り組むべき戦略として設定するものです。

経済や暮らし、まちづくりなど、すべての活動の原動力は「人」であることから、人材育成戦略を第1の柱とし、県民の皆様や市町等と連携・協働のもと、オール栃木体制で各重点戦略に位置付けられたプロジェクトを着実に推進していきます。

とちぎ未来創造プランにおける新たな視点

とちぎ未来創造プランでは、めざすとちぎの将来像の実現に向け、下記の3つの新たな視点を取り入れながら、5つの重点戦略のもと、18のプロジェクトを積極的に展開していきます。

○デジタル化

AI・IoT、ロボットなどの未来技術を活用し、モノやサービスの生産性・利便性を向上させ、地域・年齢・障害の有無等による格差をなくし、経済発展と地域課題の解決を両立できる社会(Society5.0)の実現を目指します。

○新たな日常

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会・経済のリモート化や地方分散への関心の高まりなど、これまでの常識や行動様式にとらわれない活動や意識・価値観の変化等を契機とした「新たな日常」の実現に向け、積極的に取組を展開します。

○SDGs

重点戦略に掲げる各種施策を推進することは、持続可能な開発目標(SDGs)の達成にもつながるため、県民の皆様をはじめ、市町、NPO、企業など様々な主体と県がSDGsの理念・目標を共有するとともに、連携・協働しながら、SDGsの各ゴールの達成に向けた取組を積極的に推進します。

※ 本資料では、重点戦略ごとに関連が深いSDGsのゴールをアイコンで示すとともに、各ゴールの達成に向けた主な取組について、表でまとめています。

栃木県でのSDGsの推進について、詳しくはこちらをご覧ください。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

重点戦略の各プロジェクトに沿って、令和7(2025)年度に県が積極的に推進していく主要な取組についてご紹介します。



人材育成戦略

【関連が深いSDGsのゴール】



1 とちぎの未来を担う人材育成プロジェクト

- 学力向上に向けた新たな取組である「CBT（コンピュータを利用して実施するテスト）を活用した学力定着プログラム」の導入
- モデル校（小・中学校）における英語力の習得に向けたAI学習アプリ等を用いた学習指導に関する研究の推進
- 国際社会で活躍できる人材を育成するための英語を重点的に学ぶ取組を行う研究校（高等学校）の指定
- 「特別支援教育の充実に向けた方針」に基づく、地域の小・中学校との交流及び共同学習の充実、長期休業中の宿泊学習の開催
- 多様な学びの場の拡充に向けた県立夜間中学の開校準備 など

2 笑顔輝く子ども・子育て支援プロジェクト

- 人口減少問題の克服に向け、県・市町・企業・関係団体等が一丸となって取り組むための「栃木県人口未来会議」の設置
- とちぎ結婚支援センターの都内出張相談会や婚活×移住ツアーの開催等による移住促進施策と連携した更なる出会いの機会の創出
- 専門的知見を有する少子化対策アドバイザーによる助言・提案の実施
- こどもの成長の喜びや家族の絆など子育てのポジティブな面を広くPRするコンテストやイベントの開催
- プレコンセプションケア推進のためのセミナー講師派遣等を行うサポート人材バンクの設置
- 認定子ども園等に通う第2子以降の3歳未満児の保育料を免除する市町への助成 など



<子育て施策等PRロゴマーク>

3 スポーツ推進、歴史・文化・芸術振興プロジェクト

- 若者の関心が高いメディア芸術の振興に向けた、有識者等による検討会の設置
- 県内プロスポーツチームと企業・団体・学校等の連携を促進するための相談窓口の設置
- 本県の文化振興の中核となる「文化と知」の創造拠点の整備推進
- とちぎデジタルミュージアム“SHUGYOKU”（珠玉）の充実や県内文化資源の3Dデータ鑑賞のためのアプリの導入
- 武道ツーリズムの推進に向けた武道団体・事業者を対象とする観光客の受入態勢の整備に必要な取組の支援 など



産業成長戦略

【関連が深いSDGsのゴール】



1 とちぎの明日を創る産業成長プロジェクト

- 適切な価格転嫁を促進するための商工会・商工会議所、中小企業団体中央会における専門家派遣等の取組の支援
- 県内中堅・中小企業等が抱える課題の解決に向け、東京圏のコミュニティ拠点等を通じた企業間の交流・連携や、大学等が保有するシーズとのマッチングの支援及び企業・大学・試験研究機関等が連携して取り組む新たな技術・製品等開発への助成によるイノベーションエコシステム*の推進
- ※イノベーションエコシステム…産学官金等の様々なプレーヤーが相互に関与して絶え間なくイノベーションを創出する環境・状態
- 半導体人材の育成・確保に向けた学生や若手技術者を対象とした半導体関連企業の現場見学会や技術研修の開催
- 産業活性化及び中小企業の経営安定を図るための貸付（新たに賃上げ等に取り組む企業向けの融資メニューを創設）など

2 活力ある農林業実現プロジェクト

- スマート農業技術を活用できる人材を育成するための「とちぎ次世代スマート農業推進センター（仮称）」の設置に向けた準備
- スマート農業技術に適した品種等の開発や、牛の分娩前の栄養状態を判定するシステム及び養殖魚における自動給餌システムの開発
- スマート農業団地の形成に向けた取組の支援、スマート農機による作業精度を高める通信環境の整備促進



<自動走行するスマート農業機械 (イメージ)>

- 民間非住宅建築物の木造・木質化に対する助成
- 栃木県林業大学校における林業人材の総合的・体系的な育成 など

3 観光立県躍進プロジェクト

- 本県の認知度向上やインバウンド拡大を図るための2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）への出展
- SNSや放送番組・配信サービスなどによるデジタルプロモーションの強化 など

4 国際戦略推進プロジェクト

- 県内産業の振興に向けて実効性の高い国際化施策を検討するための有識者等による協議会の設置
- 観光消費額の拡大に向けた、高付加価値旅行デザイナーによる観光コンテンツ・サービスの磨き上げの支援
- 農産物の輸出拡大に向けた米国や東南アジア等における需要喚起と販路拡大、輸出に対応した産地づくりへの支援 など

重点戦略 3 健康長寿・共生戦略

【関連が深いSDGsのゴール】



1 人生100年健康いきいきプロジェクト

- 高齢者等のオーラルフレイル予防や今後の歯科保健対策につなげるための歯科受診データ等の分析
- こども食堂等を利用する児童やその保護者等を対象とした歯科保健指導等の実施
- 自殺ハイリスク者等の早期発見や支援につなげるための健康診断の場を活用したスクリーニングの実施、市町に対して専門的な助言等を行うアドバイザーの派遣 など

2 生涯安心医療・介護プロジェクト

- 地域医療構想等を踏まえた、県立病院のあり方を検討するための有識者会議の設置
- 介護現場における様々な課題の解決に向けた関係団体等による「介護現場革新会議」の設置
- 介護テクノロジー等に関するワンストップ相談窓口「介護生産性向上総合相談センター」の設置 など



<介護テクノロジー（イメージ）>
(出典：公益財団法人テクノエイド協会)

3 多様な人材活躍推進プロジェクト

- 女性活躍やジェンダー平等に向けた施策への助言等を行う「女性活躍推進フェロー」の配置
- キャリアコンサルタントによるオンライン相談の実施、働く女性向けの支援情報を一元的に発信するウェブサイトの開設
- 企業内の働き方改革推進員を養成する講座の開催、働き方改革コンサルタントによる各企業の個別課題の解決に向けた伴走支援の実施
- 技能実習制度から育成就労制度への移行を見据えた、県内企業における外国人材の確保・定着に向けた支援体制の強化
- 若者の意見を県の施策に反映させるため若者と知事が意見交換等を行う「とちぎ若者会議」の開催 など



<グローバル人材を対象とした合同説明会>

4 誰一人取り残さない地域共生社会づくりプロジェクト

- ケアラー支援の気運醸成、相談支援の充実強化に向けた特設Webサイトの運用やガイドラインの活用
- 障害福祉サービス事業所等の整備に対する助成 など

重点戦略 4 安全・安心戦略

【関連が深いSDGsのゴール】



1 危機対応力強化プロジェクト

- 避難生活時の快適なトイレ環境を確保するための災害派遣用トイレカーの導入
- 孤立可能性集落の地区防災計画策定支援、ヘリ臨時離発着場の整備や情報通信手段の確保等を行う市町の取組に対する助成
- 今後の地震防災対策に活用するための大規模地震を想定した建物・人的被害等の予測調査の実施



<災害派遣用トイレカー（イメージ）>
(写真提供：一般社団法人助けあいジャパン)

- 小・中学生を対象とした防災教育講座の実施（受講者を「とちぎジュニア防災隊員（仮称）」として認定）
- 地域防災の今後の方向性を検討するための、幅広い関係者で構成する「とちぎ防災検討会（仮称）」の開催
- データ連携基盤を活用した次期防災情報システムの構築に向けた設計 など

2 県土強靱化プロジェクト

- 防災力強化と移住促進に向けた、県内の空き家情報を集約した「県版空き家バンク」や空き家活用診断チャート等の機能を持つ空き家対策総合プラットフォームの構築
- 三次元点群データを用いた視覚的でわかりやすい災害リスク情報発信の準備
- 災害の未然防止や被害低減を図るための堆積土除去や堤防強化、急傾斜地対策等の推進
- 民間住宅の耐震化に対する助成拡充、木造住宅の耐震改修に関する講習会の実施 など



<荒川（築堤・護岸の実施）>

3 暮らしの安全・安心向上プロジェクト

- 県警防犯アプリ「とちぎポリス」等による情報発信の推進
- 特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺撲滅に向けた取組の推進、サイバー空間の脅威に対する対策の推進
- 信号機の新設・更新や道路標識・標示の更新等の計画的な推進 など



【関連が深いSDGsのゴール】



1 ふるさとの魅力向上プロジェクト

- 令和7（2025）年に植樹開始から400年を迎える日光杉並木の保護の機運醸成を図るシンポジウム等の開催、魅力発信強化のための説明看板の改修
- 移住検討段階から移住後まで切れ目なく支援する移住促進コンシェルジュの設置、東京圏在住の若年女性を対象とした交流会の開催
- 県庁前の県有地利活用に向けた民間活力導入の検討 など



<移住促進コンシェルジュ>

2 暮らしやすい「まち」づくりプロジェクト

- 交通事業者等が行う無人自動運転移動サービスの実証実験の支援
- 現役の地域おこし協力隊に対するサポート体制の構築に向けた、協力隊経験者等による市町訪問の実施や相談窓口の設置
- 市町等が運行する市町村生活交通路線に対する支援 など



<地域おこし協力隊>

3 環境にやさしい持続可能な地域づくりプロジェクト

- 家庭における脱炭素型ライフスタイルへの転換を進めるための、うちエコ診断^{*}の実施体制の強化
※環境省の公的資格を持ったうちエコ診断士が各家庭のエネルギー使用状況等に合わせて省エネ・省CO₂対策を個別に助言・提案すること
- 県内中小企業の脱炭素経営促進に向けたSBT認定^{*}の取得に対する助成
※企業が設定した温室効果ガスの排出削減目標値について、国際基準に合致していることを認証する制度
- 県有施設へのペロブスカイト太陽電池^{*}の導入
※軽量で柔軟性があり、外壁面等の様々な場所に設置可能な次世代型太陽電池
- 奥日光地域へのアクセス強化に向けた環境にも配慮した新たなモビリティ（乗り物、移動手段）導入の検討
- イノシシの捕獲労力を軽減するICTを活用した囲いわたの配備、クマ対策強化のための放任果樹等の除去や市街地での出沒に備えた対応訓練の実施
- 使い捨てプラスチックごみや食品ロスの削減等に向けた取組を小・中学校修学旅行で実践してもらうための「エコたび栃木プロジェクト」の実施
- 浄化槽設置整備事業を行う市町に対する助成 など

4 未来技術を活用した新しいとちぎづくりプロジェクト

- 市町窓口DX（書かない・待たない・回らない・行かない）の伴走支援の強化
- 申請者の利便性向上のための、指定難病や小児慢性特定疾病の医療費助成支給認定手続における電子申請等の導入
- 道路や河川等のインフラに関するデータをはじめ様々なデータを連携させ県民の利便性向上につながるサービスを提供するためのデータ連携基盤の構築 など

SDGsの各ゴールの達成に関連する主な取組

※()内は該当する戦略・プロジェクトの番号

1 貧困をなくそう

- 第2子以降の3歳未満児の保育料を免除する市町への助成(1-2)



2 飢餓をゼロに

- スマート農業技術の活用(2-2)



3 すべての人に健康と福祉を

- 自殺ハイリスク者等の早期発見や支援(3-1)
- 介護生産性向上総合相談センターの設置(3-2)



4 質の高い教育をみんなに

- CBTを活用した学力定着プログラムの導入(1-1)
- 英語を重点的に学ぶ研究校の指定(1-1)



5 ジェンダー平等を実現しよう

- 「女性活躍推進フェロー」の配置(3-3)
- 働く女性向けの支援(3-3)



6 安全な水とトイレを世界中に

- 災害派遣用トイレカーの導入(4-1)
- 市町の浄化槽設置整備事業への助成(5-3)



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

- 県有施設へのペロブスカイト太陽電池の導入(5-3)



8 働きがいも経済成長も

- 適切な価格転嫁の促進(2-1)
- 働き方改革コンサルタントによる伴走支援(3-3)



9 産業と技術革新の基盤をつくろう

- イノベーションエコシステムの推進(2-1)
- 半導体人材の育成・確保(2-1)



10 人や国の不平等をなくそう

- 県立夜間中学の開校準備(1-1)
- 外国人材への支援体制の強化(3-3)



11 住み続けられるまちづくりを

- 空き家対策総合プラットフォームの構築(4-2)
- 無人自動運転の実証実験支援(5-2)



12 つくる責任 つかう責任

- うちエコ診断の実施体制の強化(5-3)
- 食品ロス削減の取組促進(5-3)



13 気候変動に具体的な対策を

- 小・中学生を対象とした防災教育講座の実施(4-1)
- 災害に強い県土づくりの推進(4-2)



14 海の豊かさを守ろう

- プラスチックごみ削減の取組促進(5-3)



15 陸の豊かさを守ろう

- 林業人材の総合的・体系的な育成(2-2)
- 鳥獣捕獲省力化のためのICTわな配備(5-3)



16 平和と公正をすべての人に

- 県警防犯アプリによる情報発信(4-3)
- 特殊詐欺等被害防止の取組(4-3)



17 パートナーシップで目標を達成しよう

- 「栃木県人口未来会議」の設置(1-2)
- 市町窓口DXの伴走支援の強化(5-4)



発行／栃木県

〒320-8501
 栃木県宇都宮市塙田1-1-20
 総合政策部総合政策課
 TEL 028(623)2206
 FAX 028(623)2216